

令和4年度 下新宿自治会の基本方針

(1) 下新宿を取り巻く環境の変化に相応した基本的考え

- ▶ 昨年度も自治会のイベントは新型コロナウイルス感染症対策としてことごとく中止をせざるをえませんでした。今後、新型コロナウイルスとは長い付き合いになると思われませんが、行政の指導・ガイダンス等を踏まえながらも安全・安心で、互いに支え合いながら、更なる顔の見える街づくりと地域の和を大切にする住みよい地域社会をつくるために取り組んで参ります。
- ▶ この地域においては行徳橋周辺整備工事として、洪水・高潮に強い堤防のかさ上げや取付道路の整備が進められています。これにより防災に限らず周辺の安全・防犯・環境美化にも役立つものと考えています。
自治会としても、自らが積極的に防災・防犯の意識を高め、備えることが必要と考えています。

具体的には、

- 1) 様々な事業活動を通じ、更なる顔の見える街づくりと、「住んで良かった」と感じる温かい心のかよう自治会運営に努めて参ります
- 2) 防犯灯の設置・維持・管理さらには夜間パトロールや広報活動・防災講習等を通して防犯・防災活動を継続して行きます
- 3) 情報発信源の自治会ホームページのさらなる閲覧情報の充実を図る
- 4) 下新宿を支える「ひまわりの会」「タンポポの会」の更なる活動支援を図って行きます
- 5) 老朽化が進んで耐震性も低い自治会館の建て替えに向けて、市の補助金を活用するため、市川市への申請手続きを進める

を中心に取り組んで参ります。

また、将来の自治会活動を更に発展させる為には、自治会員の参加型支援役員と組長の積極的参加が何よりも重要であると考えております。

〈課題〉

- ① 次代を担う若い後継者を育成すると共に災害対応準備、各行事を通じての企画を新しい発想で考え実行することが必要。
- ② 将来を考え女性の意見がもっと反映出来る自治会活動を行うために若い世代の方々が、ひまわりの会を通じて様々な活動に積極的に参加できる自治会運営の継続することが必要。

〈方向性〉

- ① 自治会員で50歳～75歳の新しい考えを持つ人が理事を担い、新しい街づくりに貢献していただきたい。又将来を担う若手（40代の子育て中の意欲ある男性、女性（年間行事のお手伝い）を積極的に参加していただきたい
- ② 災害時の相互扶助の精神をもう一度自治会員一人ひとりが考えて、地域の”安全・安心の街づくり”に参加していただきたい
- ③ 現在女性理事は2名いますが、増員を図り女性の意見を地域貢献につなげていただきたい

（2）幅広い住民参加の自治会

- 1) 総会前に総会資料を会員（集合住宅を除く）に配布し、自治会運営についてご理解を深めていただく（ご意見のある方は、会長、副会長、理事へお知らせ下さい）
- 2) 顔の見える街づくり（近所同士の連携やコミュニケーションの強化）及び”世代間の交流”を目指して、レクリエーション行事を実施する。また新入会員の募集（集合住宅を含めた地域の皆さんの自治会活動への参加促進）気軽に子育て・介護相談できる地域窓口（行政への仲介窓口）を継続します。
- 3) 防災対策の強化
 - ▶ 座学と併用して防災用具備品の使用方法を学べる講習会を実施します（9月に防災講習会を開催予定）
 - ▶ 新規自治会員については防災マニュアルの配布をいたします（新規加入会員・集合住宅会員については別途お知らせ致します）
 - ▶ 防災備品の定期的な点検とさらなる拡充を図ります